

一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部
(2013年開校予定)

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)

60周年記念イベント (2011年7月10日～14日実施)

- ①生徒が自ら参加して祝うイベント
(旅行期間中のフォトコンテスト開催、生徒による記念式典の開催)
- ②北海道民へ感謝の気持ちを伝えるイベント
(登別グランドホテル、登別市へ記念品と感謝状贈呈)
- ③北海道の自然を守るイベント
(有珠山で記念植樹をしてエコ活動に参加) (写真右)
- ④社会事業に貢献できるイベント
(JR北海道と企画して登別から小樽まで特別列車「慶應号」を運行) (写真左)



生徒に自主的に計画させ行動させるこの「自主研修」の背景には事前指導が欠かせない。プランには時刻表、交通手段、訪問場所、携帯電話番号等を記入させる。また、集合時間に間に合わない場合は「ペナルティーが課され、翌日の行動が制限される」としおりの至る所に書いてある。昨今、リーダー不足が叫ばれるが、この旅行を通じて、独創的な計画を立て、自主的に行動し、自己責任を負うことを学ばせることで、将来の「社会の先導者」を教育しているのは事実である。

函館に行くグループは朝食も食わずに朝7時の電車に乗り、滞在時間4時間の制限の中でコンパクトに名所旧跡を回り、名物に舌鼓を打ってくる。富良野、美瑛に行くグループはJR北海道に問い合わせて、効率のよい、リーズナブルな周遊チケットを探してくる。また、最終日はグループごとに千歳空港に集合することになっているため、ジャンボタクシーを割り勘にして、半日札幌観光+千歳空港という独自のプランを作るグループもある。

塾高では、1952年9月から各学年の修学旅行が始まり、今年で61回目を迎えた。3年生の北海道旅行(コース名「マイドリーム北海道」)は1999年から新しい形態の「選択旅行」に移り、4泊5日で千歳・登別・小樽・ニセコ・札幌と回る。選択旅行は、参加形態がホームルーム単位ではないため、グループごとの活動に重きを置いている。1、2日目の昭和南山、有珠山では歴史と環境問題を学び、3日目のニセコでは「アウトドア体験」、4、5日目の札幌では、グループごとの綿密なプランに基づく「自主

研修」を実施している。昨年は、60周年記念の旅になり、思い出に残る記念イベントを行った。

61回目の今年は7月10日から14日まで、150名の生徒と一緒に北海道を回った。前半は集団行動の大切さと一体感を持たせるように指導し、後半2日間はグループごとに立てた計画をきちんと実行できるように見守った。後半は、学校が決めたコースではなく、グループで話し合い、目的地を決めて、交通手段も自分たちで考える。インターネットを駆使し情報を集め、決められた時間までにホテルに戻ってくる。函館に行くグループは朝食も食わずに朝7時の電車に乗り、滞在時間4時間の制限の中でコンパクトに名所旧跡を回り、名物に舌鼓を打ってくる。富良野、美瑛に行くグループはJR北海道に問い合わせて、効率のよい、リーズナブルな周遊チケットを探してくる。また、最終日はグループごとに千歳空港に集合することになっているため、ジャンボタクシーを割り勘にして、半日札幌観光+千歳空港という独自のプランを作るグループもある。

マイドリーム北海道

●慶應義塾高等学校 教諭

まつばらかずのり
松原一宣